

はじめに

平成 17 年度の環境リモートセンシング研究センターシンポジウムが平成 17 年 12 月 12 日に開催された。これは第 11 回の CEReS International Symposium on Remote Sensing (12 月 13-14 日)と併せて開催されたものである。本シンポジウムは平成 17 年度の共同利用研究を主体とするもので、口頭発表 10 件、ポスター発表 10 件、国際シンポジウムで発表されたもの 12 件からなる。

本年度の共同利用研究は 4 つのプロジェクト研究と一般研究からなる。プロジェクト研究はセンターの 4 つのプロジェクト「衛星データによる地球表層環境変動の実態把握とその要因解析」、「衛星データによるユーラシア大陸の植生 3 次元構造の変遷を中心とする表層・植生・土地被覆変動の研究とデータ解析・処理手法、検証データ観測手法の研究」、「衛星データと地上観測ネットワークによる放射収支の評価と大気パラメータの長期変動」、「地域社会に役立つリモートセンシングの実現－多様な空間情報のシナジーによる社会基盤情報の発信－」に対応するもので本年も活発に研究の成果をあげていただいた。

発表会での講演・ポスターの内容を後で提出していただき、資料集としたものが本冊子である。衛星データの活用、および広いリモートセンシングの研究活動の一端を発表いただいた。多大のご協力を頂いた方々に感謝いたしますとともに、今後、研究が大いに発展し、センターとの共同研究がますます発展することを確信いたします。

平成 18 年 3 月 20 日

環境リモートセンシング研究センター
センター長
竹内延夫